

2009
春号

Vol.19

ひだまり

宮城県立がんセンターボランティア「ひだまり」平成21年4月15日 発行
編集責任者 「ひだまり」編集委員会

ていみなとつれを まうをりが
おまにり思がのい当すに感の登当
りすさがっ患特た院。感じ手録院
ま。れちて者技だで。じま芸しに三
すまてなおさをいはらし品て活年
。たいのりん生て現れた。花動前
。るでまのかお在る。病々さに着
私方、す入しりもか院がれ任
達々ボ。院て、たが院がれ着
職がラ入生活ごく、は飾て任
員多ン院活動活さ大利らいしま
もくテ生にさ躍ん切用れましま
、イ活潤れいのなすてした
絵よアはいてたボのるおたが
画いのとをおだラで方り。が
の刺方も与りインは々、院、
展激々すえまてテなが入内既
示ににるてすおイいそつのに
ななよといがりアかのた各たく
どつる単た、まのと空瞬フさん
楽て支調だそす皆考気間ロさん
しい援ないの。様えをにアんの
みるは生て一そにてど暖にの方
にと楽活いつれ登おのか手方
し思しにる一ぞ録りよさ作々

ボ
ラン
ティ
ア
活
動
に
寄
せ
て
看
護
部
副
部
長

高
橋
ゆ
り
子

いいまゆて 認もに室いバ れで特
た空すえ活病識自しなた「そて、に
し間。に動院す分てどだやのお一最
まをこ家やはるでい患き尿他り階近
す届れ庭生、機物る者、パにまフ人
。けかと活い会を方さ大ツもす口気
てらはをろに作がん変ク、。アが
いも異しいなる多が助力患私があ
た、なてろっこく参かバ者も芳る
だボついなてとい加っ「さ楽酔の
けラたる人いはらでてなんしなは
るン緊場々る、つきおどがみ香、
よテ張にがの喜しるり実毎にりー
うイ感なそでびやプま用日しにコ
にアもつれはとい口す的使て包「
、の生てぞな共まグ。な用おまヒ
よ皆じいれいにすラま作さりれ「
ろ様やまので自。ムた品れま、
しにすす目し分小も、もるす皆の
くはいが的よらさ、絵作椅。様サ
おほと、をうしな楽手成子に「
願ど思そもかさ事し紙しカ喜ビ
いよいれっ。をでみ教てばス

特集 絵手紙講習会

絵手紙の講習会によせて

絵手紙ボランティア一同

がんセンターの絵手紙講習会は、講師に高橋妙子先生をお迎えして、6年前に始まりました。私たちも初めて絵手紙と出会いました。

絵手紙は、全て線引きから始まります。「てっぺんを持つ」という独特の筆の持ち方をします。

「ヘタでも一生懸命かけばよい」

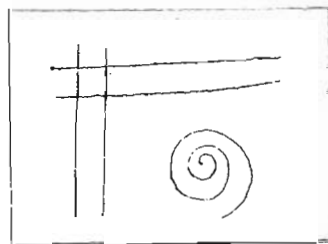
つまりは技術よりも心を大切にしています。

絵手紙の創始者の小池先生の言葉

「ヘタでいい。ヘタがよい」をモットーに患者さんと共に楽しんでいます。

興味のある方は、是非ご参加下さい。

線の
ふる
えは
心の
ふる
え



絵手紙ボランティア「真壁さんのつぶやき」から

黒一点の男子ですが、皆さんと協力しながら何とか今日に至っております。真剣に絵手紙をかいている方々から勇気をたくさんいただき、これからも続けていきたいと思うものです。



絵手紙とは・・・

絵手紙とは、絵のある手紙という意味です。絵手紙には、決まったかき方も形式もありません。自分が感じたことを感じたままかけばいいのです。

コラム ひだまり

ふんわりとバスに乗りこむしやぼん玉
春泥や三輪車のあと残りけり
春の雪きらりきらりと消えにけり
春愁や黒ずむ我手見ていたり
国宝の薨に夜半の花嵐
へだ
杉山を隔つ小道のなごり雪
かぜ
歳時記を抱きて母は春風となる

利子
サチ
栄子
ゆきこ
ぶえつ
佐保
晴美

のろくでもないじゃないか、新しい雪の上を
 歩くようなもの ゆっくり歩けば
 足跡が されいに残る
 (星野富弘 雪の道より)

定年から早や15年が過ぎました。10年目に老人性難聴となり対人関係、特に人との付き合いに悩んで居りました。

その時に星野富弘の詩にめぐり合い、自らの
老いを素直に認め年相応の目標を立ててきれ
いな足跡とはいきませんが、ゆっくり歩きたいと
考えていたとき、「ひだまり」の活動を知り「ひだ
まり」の一員として、ボランティアを始める事が出
来ました。

人の役に立つことがあまり出来ませんが、ボランティアを始めて2年半が過ぎましたが、自分のためにもう少しボランティアを続けたいと考えて居ります。

「ひだまり」の皆さん、難聴のため意志の疎通
 があまり出来ず大変迷惑を掛けると思いますが、
 宜しくお願い致します。

(文屋 租 ぶんや とおる)



イベントお知らせ

4/24(金) ..高塚美奈子ピアノコンサート
5/29(金) ..いきいきマジッククラブ
6/26(金) ..ハーモニカコンサート

エレベーター前 ギャラリー展 予定

4/14～4/28 氏家良悟 水彩画展
5/7～5/26 妙子と仲間達 絵手紙展
6/2～6/16 藤井白葉 写真&書道展
6/23～7/7 チャーチル会 絵画展



20年度 ボランティア活動のまとめ

ボランティアひだまりもがんセンターで活動が始まり9年になりました。4月現在の登録者数は90名になり、活動内容も充実してまいりました。その活動の実績をご紹介します。

20年度ボランティア登録者数	4月～10月	77名
	11月～3月	108名

	年間合計	月 平均	1日 平均	1人当たり
活動日数(日)	241	20		
活動人数(人)	2,063	171	9	
活動時間(H)	5,748	479	24	2.8

活動内容	年間合計	月 平均	備考
病棟移動図書貸し出し冊数	2,062	172	
病棟移動図書貸し出し人数	1,271	106	
手作り帽子販売数	1,022	85.2	
本館絵手紙受講者数	81	8	10回開催
イベント開催数	11		ロビーコンサート
ギャラリー展開催数	20		写真・絵など
緩和ケアティーサービス利用者数	1,059	59.2	49回開催
緩和ケア絵手紙教室利用者数	81		35回開催
緩和ケア朗読・民話の会 開催数	49		
緩和ケアミニ演奏会数	5		ピアノ・フルート
緩和季節行事手伝い人数	57		夏祭りなど

四月―芽吹きの月
いくつになっても期待感と少しの不安を感じる月です。
新年度は、何が待っているのでしょうか。
今月も、昨年度のまとめや好評の？俳句と盛りだくさんです。
そして、この「ひだまり」も一歩一歩歩んでいけることを願っています。

【担当 佐々木 サチ】

編集委員 (五十音順)

編集委員 (五十音順)

高氏家洋子
泉武悦

小林靖美
前田利子

斎藤美智子

佐々木サチ

